



林 声

2019

9 月号



鏡野町香北地域は、百谷、真経、大町、岩屋、越畑の5つの大字地域（旧鏡野町）で構成される、古くから林業が営まれ、100年生を超えるスギ・ヒノキ人工林が点在する地域です。この地域の森林所有者の一人である三木敬臣（みき けいし）さんは、かけがえのない地域の財産として後世に伝えなければならないという使命感を感じ、林業と地域の活性化に取り組まれています。（詳細はP2に記載）

目 次

大切に育まれてきたおかやまの森・人の技が光る森 （鏡野町香北地域の造林地）……………	2	林産物市況……………	11
生き活き！林務の現場（総社市農林課）……………	3	森林・林業施設の紹介 （小阪部川ダム管理事務所）……………	14
普及指導区の情報（岡山普及指導区）……………	4		
令和元年度林業普及指導員等中央研修……………	5		
地域で活躍される方（美作東備森林組合 荒島 正弘さん）…	6		
森林作業道の管理……………	7		
岡山県林業研究グループ交換研修大会……………	8		
トピックス……………	9		
技能講習等情報……………	10		

【ほつけ〜木になる情報】

Q. 伐採業務特別教育の
補講って何ですか？



おかやまの森の大使

大切に育まれてきたおかやまの森
 ☆人の技が光る森☆

鏡野町 (旧鏡野町)
 香北地域の造林地

〔津山普及指導区〕



一 鏡野町香北地域の森林について

鏡野町の東部に位置する香北地域は、百谷、真経、大町、岩屋、越畑の五つの大字からなる地域で、ほぼ全域が山林に覆われ、澄みきった空気と豊かな自然に恵まれ、越畑ふるさと村など美しく懐かしい田舎の風景が今も残されている地域です。

当地域は、古くから林業が盛んで、人工林率は76%となっており、拡大造林の盛んであった昭和40年頃は、旧鏡野町森林組合の作業班員(推進隊)の半数以上が香北地域の出身者であったそうです。

さらに、本地域の越畑地区には岡山県の代表的なスギの地域品種である「エンドウスギ」の天然生林が存在しており、大きなものは胸高直径が80cmを超えています。



エンドウスギの天然生林

二 三木敬臣氏の森林

現在、三木さんは、香北地域を中心にプロ意識の高い林業家で結成された「明日檜会」の会長です。

岩屋地区に約60haの山林を所有し、そのうち約55haがスギ、ヒノキの人工林となっており、林齢は40〜70年生が中心ですが、100年生を超える森林もあります。

林業経営は、曾祖父の代から家業として行われており、ご自身も中学生の頃から父と一緒に、植栽や下刈りをされています。

三木さんが岡山県森林組合連合会に就職された後は、森林組合等に森林整備をしてもらい、退職後

は自らも森林整備を行い、今年でちょうど10年目になります。

経営の方針は、森林の有する公益的機能を発揮しつつ多様な木材需要に継続的に対応できるように、収入間伐を繰り返す長伐期施業を基本と考えています。

しかし、平成16年の台風23号では、所有山林のうち北側斜面を中心に風倒木被害が発生し、多くの森林を失うことになりました。

旧鏡野町においても300haを超える被害が発生し、多くの林家が経営意欲を無くしてしまいました。そのような中、先祖が育て残してくれた森林を、かけがえのない地域の財産として後世に伝えていかな



民家の裏山に残されたケヤキ等の大木

ければならないという使命を痛感し、自らが率先して森林再生に取り組み、林業経営に適した土地を中心に約10haの植栽を行い、今も除伐作業に精を出しておられます。

三 最後に

三木さんが林業を営んでおられる香北地区は、地形は急峻ですが土質に恵まれ、ヒノキの良質材の生産に適した地域です。

この恵まれた地力は林業経営にとって最高の味方であり、先人達が残してくれたこの森林資源を後世によりよい形で、地域の林研グループ等と協力しながら、残していかなければならないと考えられます。



香北地域と三木氏の森林位置

(津山普及指導区 大西 俊和)

生き
活き！ 林務の現場

総社市農林課

【倉敷普及指導区】

一 はじめに

総社市は、岡山県の南西部に位置し、総面積21,190haのうち約63%を森林が占めています。民有林面積は13,286haで、そのうち人工林率は約17%となっています。平成17年3月22日には都窪郡山手村、都窪郡清音村が合併し、現在の総社市となりました。

二 取組状況

農林課は、農林係、地食べ係、工務係の3係で構成されており、森林関係業務は農林係が担当しています。

主な業務は貴重な景勝地である吉備路風土記の丘、砂川公園、鬼ノ城、井風呂谷川砂防公園などの松を保全するために行う樹幹注入・土壌改良や、伐倒駆除・危険木伐倒といった松くい虫被害対策、自然との憩いの場として整備された「新本地区生活環境保全林」と「きよねの里山 福山」の施設管理、

適切な施業の確保・推進するための森林法に基づく届出制度の指導、緑化事業の推進を行っています。



樹幹注入による松枯れ予防対策



伐倒駆除による松枯れ駆除対策



新本地区生活環境保全林



きよねの里山 福山

(総社市農林課のホームページ)
<http://www.city.soja.okayama.jp/norin/sisei/nourin.html>

三 スタッフ紹介

課長・赤星敬太、課長補佐兼農林係長・丸山幸司、担当主事・西野千春、以上のスタッフで業務を進めています。

四 今後について

今年4月に森林経営管理法、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行されました。

農林課は、これまでの森林関係業務に加え、森林経営管理法に係る業務と当該譲与税を活用した施策を担う重要な役割を果たしていくこととなります。

スタッフ一同、一層の業務推進に向けて意気込んでおられるところです。

五 おわりに

当普及指導区としては、地域林務行政の重要な役割を担う農林課の一層の事業推進のために全力でサポートしてまいります。

(倉敷普及指導区 花田 智雄)

普及指導区の情報

間伐の推進を目指して

【岡山普及指導区】

森林所有者代表、森林組合、市町、県森林企画課等で構成されたワーキンググループによる間伐推進に向けての取組を紹介します。

一 取組の経緯

備前地域の人工林は、35年生以上が85%を占め、その多くが搬出間伐の時期を迎えています。

その一方で、木材価格の長期低迷や所有者不明の森林増加により、間伐が進まない状況にあります。

そこで、関係者が協力・連携し、地域における間伐実施の課題を洗い出し、その解決策を検討するとともに、林地残材の有効利用による森林所有者の収入増加を目指し、それにより、更なる間伐の推進を図られるよう取組を行うことにしました。

二 ワーキンググループの設立

岡山森林組合を中心に、森林所有者代表や管内の各市町の林務担当者等をメンバーとする「間伐推進ワーキンググループ」を平成29年度から設立しています。

ワーキンググループでは、森林経営計画が立てられていない地区を対象に、間伐推進モデル団地を設定し、間伐プランの作成、森林作業道の開設、間伐や間伐作業の収支分析等を行う「間伐推進部会」と、間伐実施後に山に残された林地残材を調査し、木製品を試作する「間伐材活用部会」を設け、様々な視点から、間伐を推進するための方法や、林地残材の利用方法を検討しています。



ワーキンググループ会議の状況

三 取組内容

(1) 間伐推進部会

平成29年度に、岡山市北区菅野地区に間伐推進モデル団地を設定し、森林や森林所有者の調査を行い、間伐プランを作成しました。

この間伐プランを基に地元説明会を開催し、間伐作業のための森林作業道の設置を行いました。

また、平成30年9月には、モデル団地の間伐を実施し、間伐作業の収支分析等を行っています。

間伐プランの作成や間伐作業の収支分析等に当たっては林業普及指導員が特に積極的に関わって実施してきました。

(2) 間伐材活用部会

間伐を実施したモデル団地内に残された林地残材を地元の施設で加工し、平成31年3月に①ティッシュ置きゴミ箱、②本立て、③スパイスラック、④子供用椅子(屋内用)の4点の木製品を試作しました。

試作品の製作に当たっては、過去に当普及指導区で実施したイベント等の木製キットの設計図などを参考に、新たな設計図を作成し

提案しました。

現在、当普及指導区が主体となり、消費者の意見を聞くため、木材・木製品に関するアンケート調査を実施しているところです。



林地残材を利用した木製品

四 終わりに

当普及指導区では、モデル団地の収支分析結果や、アンケート調査結果などを基に、森林所有者や木材関係者に間伐推進のための普及啓発資料を作成し、提供することとしています。

今回の取組が、森林所有者の山への関心を高め、森林経営計画への参加や、森林経営管理制度の助となるよう、継続した取組を進めたいと思います。

(岡山普及指導区 夕部 聡一郎)

令和元年度 林業普及指導員等 中央研修を開催

一 はじめに

この研修は、林業の普及活動に対するニーズが多様化している中、効果的な普及活動を進めるため、林業普及指導員が一堂に会し、研究発表による最新技術等の情報共有及びグループ討議を通して林業普及指導員の資質向上を図ることを目的に実施しました。

今年度は令和元年7月29日（月）に、サン・ビーチOKAYAMA（岡山市）で県林業関係職員55名が参加して開催されたので、その概要を報告します。

二 中央研修の主な内容

(1) 研究と普及との関係

今回の中央研修のテーマは「林業普及指導員と試験研究機関の連携」とし、農林水産総合センター森林研究所において平成30年度に終了した試験研究課題について、普及業務における活用に向けた協議を行うことにしました。

まず始めに、「研究と普及との関

係」と題して、講義形式により、研究所の試験研究課題の選定方法や課題実施の流れから、林業における諸課題が森林研究所と共有される仕組みや、研究の目的について再確認しました。

(2) 研究成果発表

試験研究成果の情報共有を目的に、森林研究所から研究成果の発表がありました。林業研究室と木材加工研究室から、合わせて6課題の発表があり、発表後に活発な意見交換が行われました。



農林水産総合センター森林研究所の研究成果発表を熱心に聞き入る林業普及指導員

平成30年度終了課題と発表者

〈林業研究室〉

「マツタケの省力栽培技術の開発」

藤原専門研究員

「半炭化技術による放置竹林の活用」

牧本専門研究員

「軽架線集材材による搬出に関する研

究」

新原技師

「森林作業道の路体強度に関する研究」

牧本専門研究員

〈木材加工研究室〉

「木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究」

北村技師

「木質バイオマスを利用した木質栽培床の効率的な製造方法の開発」

金田特別研究員

(3) グループ討議

試験研究成果の発表を受けて、研究成果を普及業務に活用するための手段（資料作成・現地指導・研修会等）や更に必要なことについて、発表6課題を6班に振り分けて、グループ討議を行いました。



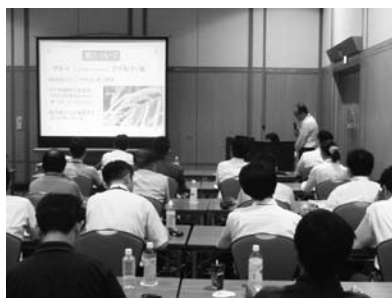
試験研究成果の活用に向けて普及する内容や普及方法（リーフレットの作成等）について討議

その結果、内容がマツタケの省力栽培技術のような基礎的なものから木質栽培床の製造方法などの実的なものに及ぶことから、追加の成果が待たれるものや具体的

な手段に至るものもあり、討議内容を踏まえ、今年度は木質バイオマス燃料の乾燥について普及用リーフレットの作成を進めていくこととしております。

(4) 普及指導の取組発表

その他、研究機関と連携した普及指導の取組事例として「研究機関との連携による岡山甘栗の栽培普及について」と題して勝英普及指導区の福見総括副参事から、岡山甘栗の産地化に向けての取り組みについて発表がありました。



勝英普及指導区における試験研究機関と連携した岡山甘栗の栽培普及の取組発表

三 おわりに

県では、今回の研修や森林経営・施業技術・林産などの専門分野ごとに行う研修などを通して、今後林業普及指導員の資質向上に努めてまいります。

（林政課 普及指導班）

東備地域で活躍される方

★美作東備森林組合

荒島あらしま 正弘まさひろさん

今回は、平成30年度から美作東備森林組合赤磐支所の業務補助員として活躍されている荒島正弘さんにお話しを伺いました。

荒島さんは、赤磐市役所を退職された後に森林組合に再就職され、森林調査等の業務に従事されています。

一 経歴

荒島さんは、赤磐市(旧吉井町)出身で、津山市内の高校を卒業後、赤磐市役所(旧吉井町役場)に就職され、技術系の職員として主に土木関係での経験が長く、若い時には林道開設の測量・設計・工事の監督業務も担当されていました。また、旧吉井町役場での勤務年数が長いことから、町内の地形、森林の状況、森林所有者等の情報を熟知されています。

二 仕事の内容

荒島さんは現在、東備地域のエ

リア内で森林調査、森林作業道の測量・設計、森林所有者との連絡調整等を担当されています。また、東備地域の森林経営管理制度の担当者としても期待されています。

三 インタビュー

今回、荒島さんに地域林業の課題と今後の抱負について伺いました。

①森林の状況と課題についてお聞かせください。

森林調査等で地域の山に入っていると、森林の管理はされず放置され、荒廃した森林を数多く目にします。また、山での仕事は十分にあるのに、林業関係の仕事に就職を希望する若い方は少なく、就職しても定着が難しい状況です。このため、若い方が林業に興味を持ち魅力を感じてもらえるような情報発信が重要であると思います。

②現場で特に注意している事をお聞かせください。

森林作業道の開設に当たっては、地形に沿った無理のない路線計画を立てることが重要です。作業道の設置により水の流が大きく変わるがあるので、排水計画を十分検討することが必要です。詳細な現地調査と施工中でも排水位

置を変更するなど柔軟に対応すれば、降雨による施設災害は減少すると思います。



設計した作業道と搬出間伐の現場

③今後の抱負についてお聞かせください。

私は旧吉井町内の森林は、概ね把握できていますが、組合業務を推進して行くためには、管内全域の森林の状況を把握しておかなければなりません。これからも積極的に現場に向き、森林の把握に努めたいと思います。

また、森林経営管理制度については、市町村が森林所有者に今後の森林経営や管理について意向調査を行うことになっていきますので、地域の森林を把握している組合と携・協力できればと思っています。また、森林クラウドの操作方

法も習得し、積極的に活用することで業務の効率化を図りたいと思います。

四 最後に

今年度から森林経営管理制度が始まりましたが、管内の市町の担当者は林務以外の事務も兼務されています。

このため、東備地域森林課では、市町、森林組合と連携し、この新たな制度が円滑に進められるよう意見交換会等を定期的に開催して支援を行っています。

今後も、荒島さんには元市職員としての豊富な経験を活かし活躍されることを期待しており、東備普及指導区としても引き続き支援していきたいと考えています。



市職員との協議：左が荒島氏

(東備普及指導区 小野 正徳)

森林作業道の管理について

7月豪雨災害の教訓

はじめに

今年も台風の影響が心配される時期となりました。災害に強く、繰り返し使える作業道の作設を目指して「岡山県森林作業道作設指針」と「岡山県森林作業道作設マニュアル」を基本にした作設技術を研修等でお伝えしているところですが、昨年の被害を教訓に、再度基本を振り返ってみます。

二 被害の様子

昨年の7月豪雨災害は7月5日〜7日で、多いところは400mmを越す記録的な大雨となり、約500箇所森林作業道被害が報告されました。



写真1



写真2



写真3

た。主な被害状況は、①溪流からの土砂により暗渠工が閉塞し、行き場を失った雨水が下流の路面を洗掘したものの、②路肩部のクラック・崩壊でした。

三 被害状況から作設の留意点

(1) 溪流の越え方と縦断勾配

写真1は、作業道が溪流を越えるために設置したヒューム管（暗渠工）の周囲が洗掘されたものです。暗渠の呑み口が、大雨で枝や流木、石などで塞がれ、濁流が路面にあふれ、写真2のように路面洗掘に至ります。

対策として、溪流を越える方法について、維持管理が必要な暗渠ではなく、開渠の洗い越しの設置を検討します。（図1）。暗渠を設置する場合、必ず設置する下り勾配側に、暗渠が閉塞して水

があふれても、路面に水が流れ込まないように、土を盛るなどして逆勾配となる部分を設置してください。

これは、波形線形の路面排水の考え方です。路面の洗掘を防ぐために、雨水を集中させず、こまめに排水することが必要

で、路面の縦断勾配を緩やかな波形線形（図2）とすることにより、短い間隔で水の流れを断ち、分散排水するものです。

(2) 開設土工

写真3は、路肩部分にクラックが入り、崩壊したものです（図3）。

対策としては、作業道を開設する際の土工の施工方法の徹底です。表土や根

株の除去、段切・段盛による締固めを十分に行うことで、地山と盛土がなじみ堅固な路体ができあがりま

す。特に盛土尻部分を丁寧に仕上げ、水平に一層30cm程度で締め固めることが重要です（図4）。

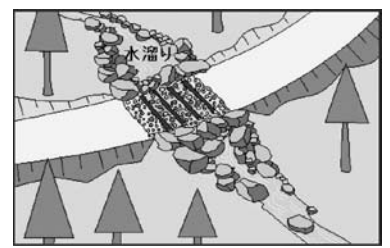


図1 洗い越し工のイメージ

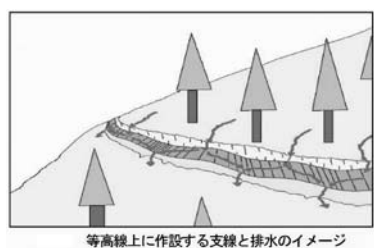


図2 路面排水の波形線形

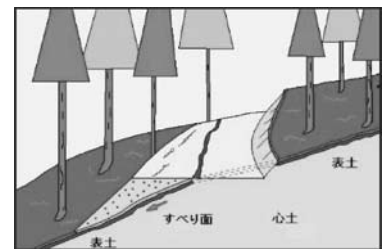


図3 段切・段盛未施工のイメージ

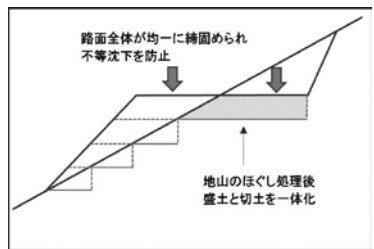


図4 地山と盛土の一体化施工

四 おわりに

以上、昨年の被災状況を振り返って、今後、気を付けたい基本事項についてまとめてみました。台風等による被害を減らすことができよう、作設時に実施すべきことはやっておき、点検・維持管理に努めてください。

（普及推進課 林業普及推進班）

岡山県林業研究グループ 交換研修大会が 開催されました



一 はじめに

岡山県林業改良普及協会専門部会の一大イベントである「岡山県林業研究グループ交換研修大会」が令和元年7月5日に、真庭市で開催されました。

本大会は、林研グループの情報交換を行うことで、県下の林研グループの資質向上を図ることを目的としています。今回は、11グループ、54名の参加者があり、各林研グループの取り組みなど、様々な情報交換ができました。

二 林研グループの活動発表

令和元年度は、真庭森林・林業研究会 向井王則様から、「未来に引き継ぐ真庭の森づくり」について、発表がありました。

林研・行政・事業体などが協力して地域で一体となって物事を考える風土のある、真庭地域の特性を活かした様々な取り組みが発表されました。中でも、里山資源である菓草に着目した取り組みでは、

地道な活動が、高校の環境学習や全国菓草シンポジウムなどへ大きく発展した好例が紹介されました。



林研グループの活動発表状況

三 県外研修等受講者の報告等

平成30年度のはつらつ林業女性交流会について、新見市神郷女性林業研究グループの山口紀久子様・松浦尚子様から報告があり、交流会で知り合われた他県の林研グループと、その後も交流があることなどが報告されました。中国・四国ブロック林業グループコンクールについては、豊並樹苗生産組合の長畑健三様から報告があり、コンテナ苗の現物を会場に持参されて、他県の林研の方々と積極的に意見交換できる機会となったことなどが報告されました。

また、林研グループの活動紹介

では、各グループ代表者が順番に最近の活動について、各地域の特色にあった様々な取り組みを紹介しました。今年の3月に発足した「岡山林業未来会」の竹原会長は、「現在メンバーは6名ですが、県内各地に住んでおり、活動区域も県内全域を考えています。小学生から高校生まで、子どもたちを中心に林業の魅力を伝える活動をしていきたいと考えています。」と熱い思いを語られました。

さらに、会場後方では女性林研グループが、コンテナ苗やくず新芽茶などの展示や木工教室などの取り組みを紹介したブースを設置し、展示内容の説明を行いました。



女性林研グループ
展示の様子

四 現地研修

株式会社勝山木材市場を視察しました。常務取締役青木様から、木材の市況や住宅用木材についての説明がありました。



株式会社勝山木材市場視察の様子

五 おわりに

年に一度の本大会開催を、沢山の方が楽しみにしており、事務局では、今後も、みなさまの期待に添える企画にしたいと考えておりますので、今後とも、よろしくお願いたします。

(岡山県林業改良普及協会事務局)

トピック

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村ビレッジプラザ県産木材出発式 from おかやま」を開催しました！

7月1日(月)、株式会社岡山木材相互市場(岡山市南区藤田)で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村ビレッジプラザの建築に提供する県産木材の出発式を開催しました。

県では、素材生産量日本一を誇る県産ヒノキの魅力を広く普及啓発するため、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が実施している「日本の木材活用リレー」～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～事業に参画し、昨年度から県産木材の調達、製材加工等の準備を進めてきたもので、この度の出発式で第一便を出荷しました。

式では、県産木材の調達、製材加工等に協力をいただいた森林所有者・加工関係業者や地元子ども園の園児にもご出席いただき、東京へ出発するトラックを見送りました。今後、8月までにヒノキ製材品

82・6立法、CLT(直交集成板)20・2立法を順次出荷します。また、大会終了後、返却された木材は、県内の公共施設においてベンチなどに加工して再利用する計画です。

今後とも様々な機会を捉え、県産ヒノキの魅力を県内外に広く周知し、県産木材利用への理解の醸成に努めていきます。



記念写真



県産木材を乗せたトラックの見送り

補助区分と助成金額

区分	一戸当たりの助成金額
①新築 県産乾燥材(8㎡以上)を使用	(定額) 20万円
②新築 県産森林認証材(4㎡以上)を使用	(3万円/㎡) 12~24万円
③被災住宅の改修 県産森林認証材(2㎡以上)を使用	(3万円/㎡) 6~24万円

【連絡先】 岡山県木材組合連合会 TEL 086-231-6677
岡山県林政課林業木材班 TEL 086-226-7452

県産材を使った家づくりを支援しています

県では「おかやまの木で家づくり支援事業」として、県産材を使用した住宅の新築・改修を行う施工業者を対象に補助を行っています。

今年度から、新たに県産森林認証材を補助対象に加えました。木材使用量は、新築の場合4立方メートル以上、改修の場合2立方メートル以上で、使用量に応じて最大24万円の助成が受けられます。

また、平成30年7月豪雨災害等で被災された方の優先枠を設け、住宅の再建を支援しています。

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)



県産材を使った木造住宅

受付は、岡山県木材組合連合会で行っています。ぜひ、ご活用ください。詳しくは、同連合会または、岡山県林政課のホームページをご覧ください。

技能講習会の開催 (10月～12月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	11月21、22日	一般社団法人 岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡山	10月3、4日、11月14、15日	
	津山	10月29、30日	
伐木 (特別教育)	津山	10月17、18日	
刈払 (安全衛生教育)	津山	10月24日	

伐木等の業務 (大径木) 特別教育修了者を対象とした補講

会場：岡山県安全衛生会館

定員80人

会場：高梁総合文化会館

定員60人

開 催 日	時間 (講習時間：3時間)	
	1 回目	2 回目
10月19、20、27日	9：00～12：00	13：30～16：30

開 催 日	時間 (講習時間：3時間)	
	1 回目	2 回目
12月4、5日	9：30～12：30	13：30～16：30

会場：津山圏域雇用労働センター2階 定員80人

会場：岡山県労働基準協会新見支部 定員40人

開 催 日	時間 (講習時間：3時間)	
	1 回目	2 回目
11月11、12、13日	9：00～12：00	13：30～16：30

開 催 日	時間 (講習時間：3時間)	
	1 回目	2 回目
12月10、11日	9：00～12：00	13：30～16：30

※受講履歴等の問合せ先：岡山県労働基準協会 講習担当 TEL 086-221-2160



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 **コニファー水和剤** 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕 **バークガード** 〔野生草食獣食害防止〕 **防獣ネット**
 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
 〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤

(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819



林産物市況



木 材 (8月19日)

・出荷量 約1,300m³

乾しいたけ (7月3日)

・出品数量 4.0 t
 ・価格高値 5,510円
 ・総平均 3,026円

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直 材	小曲り	概 況
杉	3 m	14~16	10.5	-	杉概況
		18~20	10.5	-	【3 m】
		22~28	10	-	柱 材 保合い
	4 m	18~22	10	-	中目材 保合い
		24~28	10	-	【4 m】
		16~18	13	-	中目材 保合い
桧	3 m	14~16	19.5	16	元 木 保合い
		18~20	18	16	桧概況
		22cm上	16.5	16	
	4 m	14~18	19	18	
		20~22	16	16	中目材 保合い
		24~28	16	16	元 木 保合い
		30cm上	16	16	【4 m】
	6 m	16	25	18	柱 材 保合い
		18~20	30	20	中目材 弱合み
	松	3 m	18~22	10	8
4 m		18~22	10	8	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

品 柄	価 格		相場
	平均	高値	
香 信 大	3,517	4,310	○
香 信 中	3,271	4,510	○
香 信 小	2,513	3,890	□
小 間	1,892	2,000	△
香 信 山 成	2,660	4,390	□
バ レ 大	3,072	4,180	○
バ レ 中	2,799	3,770	□
ス ラ イ ス	2,907	5,380	○
花 どんこ	4,390	4,390	◎
上 どんこ	4,500	4,500	◎
並 どんこ	4,013	4,860	◎
並並どんこ	2,816	4,210	□
小玉どんこ	2,616	3,790	□
山成どんこ	3,090	3,090	○
こ う こ	3,922	5,510	◎
格 外	1,926	2,500	

価格：円/kg (相場) 強：◎ 保合：○ 弱保合：□

<概況>
 香信・バレ系が全体の67%を占め、小さいものの値が付きにくかった一方で、大きく形の整ったものが品柄を問わず高値で取引された。
 平均単価は、3,000円を超え、全国市場での取引価格と同程度となった。
 今回の市でも、品柄や大きさの揃ったものが高値で取引された。

資料：岡山県森林組合連合会椎茸共販所
 ※次回入札会は令和元年10月下旬頃

製 材 (8月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安値 ~ 高値 (円/m ³)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	53,000 (直送) ~ 58,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	65,000~68,000 (無背割)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	60,000~65,000
マ ツ	平角 4 m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	56,000~58,000
	平角 3 m、4 m 10.5×15~21cm	特等	G	58,000~60,000
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	70,000~75,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	60,000~

注1：価格は、岡山県内の市場等の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約2千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと 27,444円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと 43,325円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
 防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
 TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォームマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
 間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256

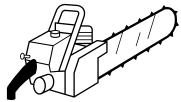
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

ほつけー木になる情報

伐木作業に携わる方へ

特別教育の補講をお忘れなく

林業における労働災害発生率が依然として高く、チェーンソー作業による伐木作業中の発生が約6割を占めている状況等を踏まえ、事業者が講ずべき措置などについて、「労働安全衛生規則（以下安衛則）」の一部を改正する省令及び安全衛生特別教育規程を改正する件」が平成31年2月12日にそれぞれ公布又は告示され、2月15日には、修羅による集材又は運材における危険の防止規程の廃止や木馬運材及び雪そり運材に係る規程の廃止、8月1日からは、チェーンソー保護衣着用義務や受け口を作るべき立木の、胸高直径が40cmから20cm以上へ拡大等が段階的に施行されています。



《特別教育の改正のみ、来年8月1日の施行・適用》

新たに造材の方法及び下肢の切削防止用保護衣等の装着について学科が追加

これまで、伐採業務特別教育終了の方についても、令和2年7月までに、補講を受けなければ、チェーンソーを用いた伐木等作業に就くことができなくなりますので、注意が必要です。

（参考）補講時間

安衛則第36条第8号修了者

（チェーンソー等の講習を受けた者）

学科教育 2時間

実技教育 0.5時間

安衛則第36条第8号の2修了者

（第8号未修了者）

学科教育 3時間

実技教育 2時間

安衛則第36条第8号

（チェーンソー等の講習を受けていない者）

学科教育 6時間

実技教育 4.5時間

岡山労働基準弘報7月より

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお持ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-08570

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内

電話086-2226-7451

または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所木材加工研究室内

電話0867-44-3367

おかやまの木で家づくり支援事業

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）



詳細は
コチラ

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)

TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549



CT-500C

GP-532
小型ハイパワープロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>

林声

令和元年九月一日（第四六七号）
（隔月一日発行）



外 観

森林・林業施設等の紹介

「岡山県小阪部川ダム管理事務所」

小阪部川ダムは、昭和30年に新見市上熊谷と唐松にまたがる小阪部川に竣工したダムで、岡山県南部への灌漑用水供給が目的となっています。その管理事務所が60年以上を経過し、耐震性を高める必要があったため、平成30年3月に建て替えが行われました。

建物の特色としては、1階がRC構造で2階及び3階はスギのCLTパネル工法が採用されています。

1階は玄関と車庫、2階はダム操作室と事務室、3階は会議室や宿直室となっています。

職員の感想は、「木のぬくもりが感じられ断熱性や防音性に優れ、

快適な環境でダムの管理業務が行える」と好評でした。

木質構造の国営ダム管理事務所は全国初で、こうした工法が全国でも採用されることを期待しています。

木材使用量 103立方メートル
うちCLT使用量 80立方メートル

（新見普及指導区）



会議室



宿直室

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
発行 岡山市北区内山下二一四一六
〒700-8570

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



【 特別共販日のご案内 】

岡山県森林組合連合会



開催日	特別共販名（開催共販所）
10月9日（水）	特別市（津山）
10月23日（水）	新見地区木材まつり（新見）
10月29日（火）	特別市（勝山）
11月11日（月）	第31回岡山県民有林優良材展示コンクール（津山）



皆様の出荷を
お待ちしております！



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。